

◆総合的な探究の時間 ～ポスター発表～

11 月 6 日（月）に総合的な探究の時間でポスター発表を行いました。



ポスター（一部）



沖縄・地元のことを考え知っているというのは自分の強みになると思う。どのような課題でも自分事のように考えればより学びが深まりそうだと思う。

今回調べたことで様々な考え方に触れることが出来て一つの立場だけから物事を考えないようにしたいと思ったし、チームで考えが対立して色々話し合ったことが楽しかった。

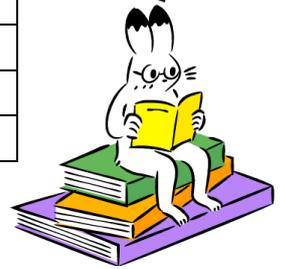
色々な物事を考える時、色々な視点から見ることを数学でも活かそうと思った。あふれた情報の中から必要な情報を選び取る判断力がついた感じがする。

もう少しちゃんとした根拠になるようにデータをもっと取ったり調べ方の方法を増やしたい。少数意見は捨てずにそれもしっかり調べることは大事だから今後も続けていきたい。

社会に役に立つことや身のまわりの人々を助けられるような課題解決も大切だから視野を広くもって課題を見つけていきたいし、自分の興味のある分野を専門的に調査してみることによって自分自身の成長にも繋がると思う。

1 年テーマ	2 年テーマ
生き方とお金・相関関係の探求	Bad guy に惚れる心理とは？
効率の良い暗記法	糸満に希望のレールを
ドラえもののひみつ道具は実現できるのか。	向陽の匂い追求
冷え性の人には、共通点があるかどうか。	精神疾患と MBTI
血液型とアレルギーの関係性について	クローン技術は正しいのか

生徒・教諭が選ぶ
TOP5
※この中に順位はありません。



◆沖縄未来社会創生シンポジウム

12 月 9 日（土）「糸満に希望のレールを」チームが沖縄未来社会創生シンポジウムへ参加してきました。現役大学生も参加し、質疑応答や意見交換のできるアットホームで有意義な時間でした。

～参加してみたの感想～

今回の発表は私たちにとってとても良い経験になった。発表に向けて総探で調べた分+αを足してより研究内容を深めることができた。他校の発表を聞いたことで自分と同年の子達があれほど高度な研究ができるんだなって驚いたし刺激的で、これからの探究活動や大学受験のモチベーションになった。

他校の発表が興味深かった。それぞれのグループが私たちとは違う視点で問題を発見し、問題解決につなげるための行動力がすごかった。大学生や教授の皆さんの質問は自分たちが思いつかないような疑問や着眼点だったので参考になった。



糸満に希望のレールを

Succeed ITOMAN (株)

動機
4 人全員糸満市で日々糸満の交通不便の不便を感じているから、また実際にバスの手数も少ない。糸満市民が過ごしやすい環境づくりをしたかったから。

仮説
糸満にモルレールを造ると、(メリット)
○通学・観光において便利
○宣伝・広告
○02 精製(バスの本数を増やすより環境にいい)
○南部に的ける沿道の緩和(デメリット)
○赤字
○バス会社とモルレール会社の折り合い
○駅や路線の往く場所がない

探究方法 及び結果口
ネット検索(過去の営業成績、動画視聴、モルレールの運営計画など)
ホームページへのメール質問
(沖縄バス、ゆいレール)
○沖縄バスへの電話
電話が通って良かったです
○ゆいレールの質問
○ 営業成績について

回答
コロナ禍においては緊急事態宣言発出され様々な経済活動が自由を余儀なくされ、物産の営業成績が急落しました。その間においても持続性は高まりましたが、現状より大きく公共交通機関として営業活動を継続したいと、モルレールを Scanner でスキャン

②モルレール延長計画について
近郊、沖縄県・内閣府において検討されており、当社では引き続き参考として以下を参照するが直接お問い合わせは難しい。

③営業につきまして
旅客、業務用 (OKICA、Maas、各種乗車券等) にバス会社と打合せを行っております。

考察
社会的な観点から事業効率性を評価する B/C が 1 を下回ること、事業採算性を示す営業後 40 年間の累積損益も多額の赤字が想定されること等の課題が存在。

(近年の調査結果の概要)

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
売上総利益	1,500 万円	1,500 万円	1,500 万円
営業利益	1,500 万円	1,500 万円	1,500 万円
営業損失	2,500 万円	2,500 万円	2,500 万円

現在の沖縄では営業効率性のモルレールを延長するのとは異なりそのための準備を完全に整える鉄軌道というものの運行を視野に入れていたことが分かりました。鉄軌道が出来たら生活もより便利なものになるかもしれませんね。

